

# BL認定ドアクローザ取扱説明書

## 取付業者様へのお願い

この取扱説明書は必ずお施主様へお渡しください。また、ご入居様へお渡しいただけますようお施主様へお伝えください。

## お施主様へのお願い

この取扱説明書は必ずご入居様へお渡しいただけますようお願いいたします。

## ご入居様へのお願い

商品を正しくご使用いただくために、この「BL認定ドアクローザ取扱説明書」をよくお読みください。また、いつでもお読みになれるように大切に保管してください。

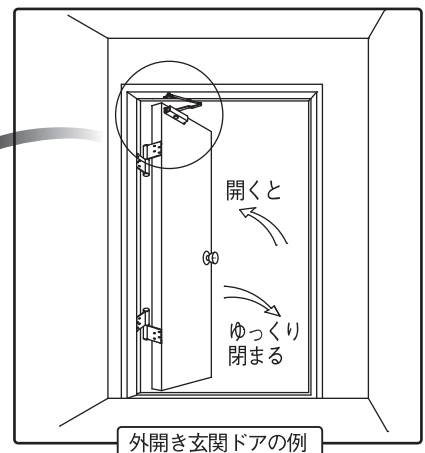
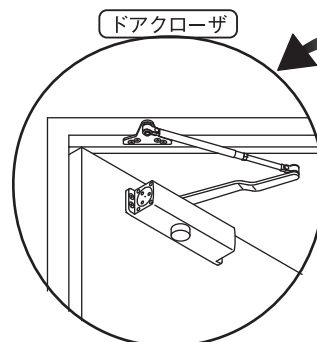
### ★ドアの閉まる速度を調整しないでください。

BL認定ドアクローザは、ドアの急激な開閉を抑制し、思わぬけがを防止するためのものです。管理責任を負える方による調整を前提に、特殊な工具以外ではドアの閉まる速度が調整できない構造としています。ドアの閉鎖速度の調整が必要な場合は、建物管理責任者、施工業者または当社にご連絡ください。

## 1. ドアクローザの基本機能について

- 1) ドアクローザとは、玄関のドア上部についており、ドアを油圧によりゆっくりと自動的に閉めるためのものです。

☆閉じかけているドアを閉じる方向に強く押ししたり、引いたりしないでください。  
☆強制的なドアを閉じる操作はドアクローザ本体内部の油が漏れたり、閉扉速度が調整不能となるなど、故障の原因になります。



- 2) 季節の温度変化により、ドアクローザ内部に密封された油の粘性が変化し、ドアの閉じる速度が変化します。温度が高くなる夏場には速くなり、また、温度が低くなる冬場には遅くなります。ドアの閉じる速度が極端に変化する場合には、建物管理責任者、施工業者または当社にご連絡ください。

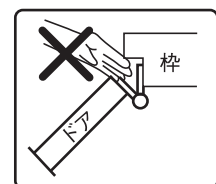
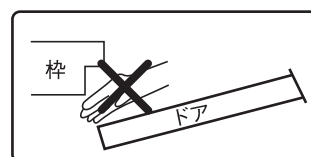
☆ドアの閉じる速度が極端に速くなると事故につながるおそれがあります。

- 3) 本体から油が漏れたり、部品が破損した場合は、至急建物管理責任者、施工業者または当社にご連絡ください。

☆放置しておくと、ドアの閉鎖速度のコントロールが効かなくなり事故につながるおそれがあります。

- 4) 窓などの開閉によって誘発される屋内の気圧変化やドアクローザの性能を超える突風などにより、ドアが急激に閉まることがあります。

お願い けが防止のため、ドアと枠の間に絶対に手を置かないでください。

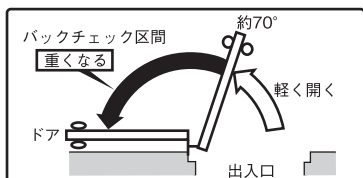


- 5) ドアクローザは分解、改造しないでください。

☆中の部品や油が飛び出して、思わぬけがをしたり、衣服やドア、床などを汚したりするおそれがあります。

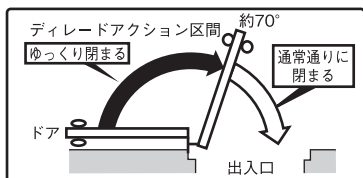
## 2. その他の機能 について

### 1) バックチェック機能とは(バックチェック機能付きドアクローザの場合)



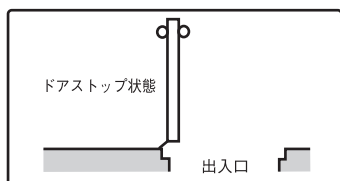
約70° から油圧が働いて急激にドアが開くことを制御する装置です。ドアを70° 以上開くときは、油圧が働き多少重くなりますが、故障ではありません。ゆっくり開いてください。

### 2) ディレードアクション機能とは(ディレードアクション機能付きドアクローザの場合)



約70° までゆっくり閉まり高齢者、身障者や荷物の搬入時の通行に配慮した機能です。閉じかけているドアを閉じる方向に、強く押したり引いたりしないでください。故障の原因になります。

### ストップ機能とは(ストップ装置付きドアクローザの場合)



ドアを開けておきたい位置で一時的に止めることができる機能です。

## 3. お手入れ方法

- 1) ドアを繰り返し開閉することによって衝撃や振動が加わり、ドアクローザを取付けているネジ(取替パーツの取付けネジを参照)がゆるみ、ドアが円滑に開閉しなくなることがあります。時々、ドアクローザを取付けているネジがゆるんでいないか点検してください。ゆるんでいた場合はネジを締め直してください。放置しておくと、ドアの開鎖速度のコントロールが効かなくなったり、ドアクローザが落下して事故につながるおそれがあります。
- 2) お手入れは乾いた布で拭いてください。また、結露が生じた場合も、乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと塗装が剥がれたり色あせたりすることがあります。

## 4. 故障かな? と思ったら

下記のような現象が発生した場合は、速やかに建物管理責任者、施工業者または当社にご連絡ください。

- ドアの開まる速度が速くなってきた。
- ドアの開まる速度が遅くなってきた。
- ドアが閉まる際、今までになく「バタン」と大きな音がするようになった。
- ドアが円滑に閉まらなくなったり、ドアクローザから異音が生じるようになった。
- ドアが所定の開放停止位置で止まらなくなった。(ストップ装置付きドアクローザの場合)

※ ドアクローザを長年使用されていると、ドアクローザ本体内部、部品などの摩耗・劣化により、当初の性能が維持できなくなります。定期的に点検を依頼され、必要により交換されることをお勧めします。

## 5. 困ったときには

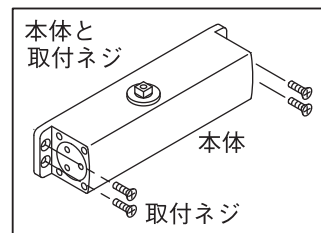
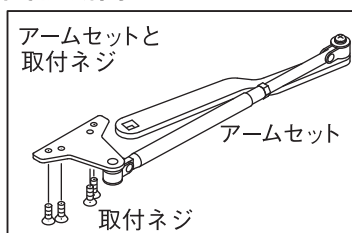
下記のような現象でお困りの時は、建物管理責任者、施工業者または当社にお問い合わせください。

- ドアを開く時、約70° から重たい。(バックチェック機能付きドアクローザの場合)
- ドアが閉まる時、約70° までなかなか閉まってこない。(ディレードアクション機能付きドアクローザの場合)
- ドアを開けておく位置を変えたい。(ストップ機能付きドアクローザの場合)

## 6. 生産中止後の取替パーツの供給可能期間

生産中止後10年

取替パーツ



平成21年10月 改訂

# リョービ株式会社

札幌	〒062-0937	札幌市豊平区平岸7条14-3-48	☎(011)811-8232	名古屋	〒468-0034	名古屋市中区久方1-145-1	☎(052)807-1643
仙台	〒983-0034	仙台市宮城野区扇町4-2-38	☎(022)237-6201	大阪	〒569-1135	大阪府高槻市今城町24-12	☎(072)685-1113
東京	〒114-8518	東京都北区豊島5-2-8	☎(03)3927-5533	広島	〒736-0082	広島市安芸区船越南3-7-29	☎(082)823-0028
富山	〒939-8214	富山市黒崎2-3-2	☎(076)493-2225	福岡	〒811-2305	福岡県糟屋郡粕屋町柚須107-1	☎(092)623-5000